

建築人

2021
11

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.689





BARの学校
日本ハブバー経営専門学校
一般社団法人日本ハブバー協
0120-356-544
http://www.bar-school.jp

公認 会理 士 中
大塚駅前もろもろビル 1F
エニターム
アパレル
インフォメーション
11月 15日 開業

30

OS

建築人

2021.11 No.689

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「武庫川女子大学カヌー部部室棟」2020年

第13回 建築人賞 建築人賞奨励賞 受賞作品

設計：竹中工務店

施工：永瀬

撮影：河田弘樹

武庫川女子大学カヌー部の新艇庫。カヌーの出し入れに配慮した三角形グリッド、その三角形グリッドを利用したカテナリー構造の無柱空間、カテナリー構造が作る愛嬌のある外観。それらがカヌー/部員/町にふさわしい建築を作り上げています。

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市内の車道には、世にも不思議な巨木が祀られている場所が数多く存在しており、大阪市建設局による1984年の調査では、市内の23カ所で道路上に神木があると報告されている。今回はその中でも都市の中であって森のごとく象徴的な、谷町7丁目の交差点付近にある「楠木大神」を取り上げたい。

元々、この地には本照寺という寺があって、その境内に御神木の楠木が植えられており、その樹齢はおよそ500年から600年と言われていた。しかし、昭和初期の区画整理による道路拡張工事の際に、本照寺は八尾市へ移転したが、この御神木である楠木には繁栄をもたらす蛇が棲んでおり「伐ると祟りが起こる」などと畏れられたことから、そのまま楠木が道路の真ん中に残されることになり大切に祀られたとされる。東京などの大都市部では、あまりこのような御神木をお目に掛かることはなく、およそ戦時中の大空襲や、関東大震災などにより焼失してしまった可能性が高い。しかし、幸いなことに大阪の中心部の一部は奇跡的に戦火を免れ、この楠木大神のように信仰の対象として現存しているのである。

2018年頃には枝打ちがおこなわれたが、現在は生きた森のごとく再び緑で覆われ、都市のグリーンネットワークの一部となっている。今も変わらぬ風景に、老若男女が手を合わせ何事か願いを掛け続け、この地にあり続ける楠木大神は、私たちが温かく見守ってくれているのかも知れない。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「ちえの森ちづ図書館」

設計・監理：徳岡設計

施工：ジューケン・原田特定建設工事共同企業体

「かんぼの宿赤穂リニューアル」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「印南の廻楼」

設計：岩田章吾建築設計事務所

施工：和田建設

8 動静レポート

9 Topics

10 インフォメーション・事業案内

14 記憶の建築

「旧・東京市深川食堂」1932年

震災復興遺産としての公設食堂 / 松隈 洋

建築人 No.689 2021年11月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二

委員長：荻窪伸彦（編集人代表）

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之

大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和3年11月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

Gallery



ちえの森ちづ図書館

設計・監理：徳岡設計

施工：ジューケン・原田特定建設工事共同企業体



ちえの森ちづ図書館は、住民ワークショップを通して、利用者それぞれの想い、活動や居場所のあり方を話し合い、共に創りあげた結晶としての拠点です。既存の桜をアイキャッチとして、南北軸で動から静へ繋がる開架空間の「本の森」に、利用者の目的に応じた居場所を組込みました。町内に点在する土蔵のさや屋根をイメージした無垢の智頭杉の屋根架構は智頭町を印象付けるデザインであり、連続する木製トラスは内部空間に木組みの持つ温かさや優しさを同様に智頭杉で製作した書架や家具と相俟って感じさせてくれます。北側の広場には夕暮れになるとその架構が浮かび上がり、杉の産地の図書館の営みを映し出しています。
(藤城義文)

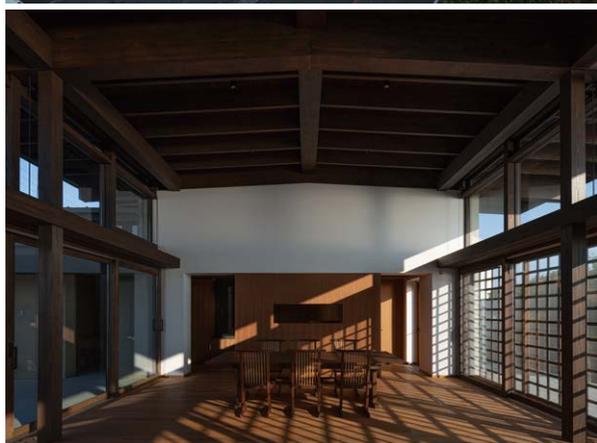
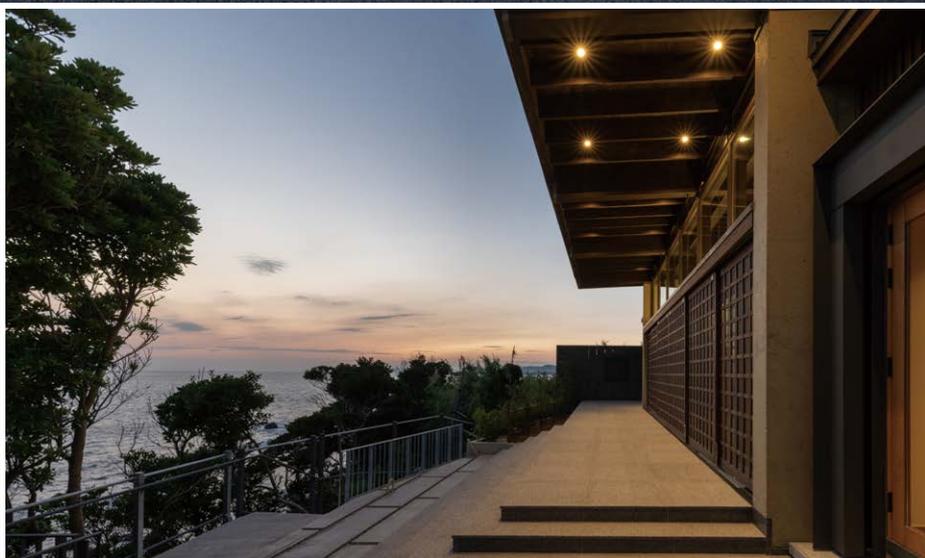
所在地：鳥取県智頭町
用途：図書館
竣工：2020.11
構造規模：S+W造
平屋建
敷地面積：3,729.37㎡
建築面積：1,392.21㎡
延床面積：1,176.06㎡
写真：松村芳治
徳岡設計(左下)



本リニューアル計画は、築25年を経たホテルの新たな魅力創出のために計画された。瀬戸内海が眼前に広がる恵まれた立地を活かし、ゲストが海を感じることでできる場を随所に設けている。ロビーラウンジや全室オーシャンビューの客室は、内装・仕器の一新とともにサッシュの大開口化、バルコニー新設を行い、海への開放性を既存よりも遥かに高めている。また小規模であった温泉露天風呂を、間口を広く取るとともに、浴槽の水面と海が繋がったかのように見えるインフィニティ形式へと改修した。訪れるゲストは装いも新たに変わった空間とともに、瀬戸内の海と一体となる新たな体験を楽しむことができるだろう。

(小池誠・矢野梨花子)

所在地：兵庫県赤穂市
用途：ホテル
竣工：2020.12
構造規模：RC造
地下1階・地上
4階・塔屋2
敷地面積：11,211.15㎡
建築面積：2,455.58㎡
延床面積：7,532.84㎡
写真：日本郵政提供



この住まいでは、日常とは異なる時間を感じてもらうことを意図した。建物構成は中庭を廻る回廊形式とし、前室から中庭、メインホールである主楼へとつながる中心軸を夏至の日の出と冬至の日の入りの軸と一致させた。この軸は生誕と死没、そしてそこからの再生を象徴する生命軸を意味している。このことにより、この住まいは、日々表情を変える海と空を楽しみながら過ごす場であると同時に、一年に一度の特別な日のための建築となった。冬至の日、建物の正面に太陽が海に没するとき、この建物は沈みゆく陽光のためのゲートである。そして冬至の日没の数時間は住まい手にとってのかけがえのない特別なものとなる。

所在地：和歌山県日高郡
用途：個人住宅(別荘)
竣工：2021.07
構造規模：混構造
(RC造+木造)
敷地面積：541.64㎡
建築面積：307.39㎡
延床面積：285.01㎡
写真：緋田昌重

会長動静

- 9/27 大阪府収用委員会
- 9/29 近畿会長会議
近畿建築士会協議会
- 9/30 大阪狭山副市長面談
藤井寺市長面談
- 10/ 4 内山鑑定事務所協議
- 10/ 6 在阪建築4団体会長等会議
- 10/ 7 河南町長面談
千早赤阪村長面談
- 10/ 8 太子町長面談
- 10/11 大阪府収用委員会
- 10/13 日本建築士会連合会環境部会
- 10/14 河内長野市長面談
- 10/15 富田林市長面談
堺市副市長面談
運営部門会議
- 10/19 大阪府収用委員会
- 10/20 理事会・正副会長会議



左より湯谷委員、濱田副会長、堀井善久大阪狭山市副市長、岡本会長



左より岡本会長、岡田一樹藤井寺市長、濱田副会長、尾鍋委員



左より山田委員、岡本会長、森田昌吾河南町長、濱田副会長



左より山田委員、岡本会長、南本齋千早赤阪村長、濱田副会長



左より濱田副会長、岡本会長、田中祐二太子町長、松村委員



左より濱田副会長、樹井繁春河内長野市副市長、島田智明河内長野市長、五嶋委員



左より横関建築士、吉村善美富田林市長、岡本会長、濱田副会長、横関委員



左より西野委員、濱田副会長、岡本会長、島田憲明堺市副市長

- (3) 第65回建築コンクール募集要項
昨年度延期の影響から、今回に限り対象建築物の竣工期間を通常の5年間から6年間に延長した要項を承認しました。
- (4) 広域災害調査技術者の登録案内
内山鑑定事務所との協定に基づき、損害鑑定調査業務の支援を行うために「広域災害調査技術者」を募り、登録の要件を満たした同技術者の組織構築を承認しました。
- (5) 応急危険度判定士の連絡網
Microsoft Forms を活用して事務局から判定士へのPCやスマホへの一斉配信をすることにより、案内から回答及び自動集計まで行うことができ、IT活用で合理化を図る新手法を承認しました。
- (6) クラウドファンディング案内
標記案内をSDGsに直結する3目標に繋げるなどして改善しました。賛同者が具体的に何をすればどうなるかなど直接的な理解が得られる改善も必要としました。
- (7) 地域貢献活動の助成対象活動募集
前項のクラウドファンディング企画に連動した2022年の活動募集の案内を承認しました。
- (8) 事業動画の配信等
動画配信は原則としてHPで募集のうえ申込み確認後に閲覧用URLを配信する手法を承認しました。賛助動画は当該会社の了解のもとでYouTubeに配信します。

10月度 理事会報告

(1) 入退会の承認

| (人) | 9月 | 入会 | 退会等 |
|------|-------|----|-----|
| 正会員 | 2,426 | 4 | 5 |
| 準会員 | 37 | 0 | 1 |
| 特準会員 | 27 | 0 | 1 |
| 賛助会員 | 139 | 0 | 0 |
| 計 | 2,629 | 4 | 7 |

(2) 会計報告

| (円) | 9月計 | 累計 |
|-----|-------------|------------|
| 収入 | 4,962,488 | 75,973,905 |
| 支出 | 10,460,795 | 60,425,623 |
| 差引 | △ 5,478,307 | 15,548,282 |

上表の当期経常増減明細を承認しました。

一級・木造建築士設計製図試験を実施

10月10日、全国で一級・木造建築士設計製図試験が実施され、大阪では本会が運営を担当し、大阪経済大学大隅キャンパスにおいて実施しました。課題は、一級「集合住宅」、木造「専用住宅（木造2階建て）」で行われました。

▼受験者数(名)

| 大阪 | 3年受験者数 | 昨年との比較 |
|----|--------|--------|
| 一級 | 969 | +44 |
| 木造 | 63 | +22 |
| 全国 | 3年受験者数 | 昨年との比較 |
| 一級 | 10,500 | -535 |
| 木造 | 356 | +18 |

「これだけでわかる建築基準法」

日程：令和3年10月18日(月)～24日(日) WEB講習会にて実施
参加者：69名



吉村淳二(研修委員会 設計・設備・法令担当委員長)

毎年好評を得ている建築技術講習会【これだけでわかる建築基準法】もコロナ禍で延期が続いていたが、ついにWEB講習という新しい形で実現された。期間は令和3年10月18日から1週間で、講習時間は合計252分。3人の講師の方々が準備されたパワーポイントと講師の方々の姿を画面で見ながら、手元で事前に配布されたテキストを参照して受講する。パワーポイント画面にはテキストのページが右上に書かれており、途中からの視聴でも迷うことはない。受講者はこの期間の好きな時間に受講することが可能で、何度でも見直すことも可能だ。

講習は平成30年の改正基準法の概要から始まった。建物の安全性の確保、既存建物ストックの活用、木造建築物の推進普及といった3つのキーワードから、さまざまな

規定の整備や手続きの合理化についてその変更概要をわかりやすく説明されていた。また、建築基準法の概要については、道路と道などの用語の定義から始まり、建築手続き、一般構造・建築設備規定、防火・避難規定、構造強度規定、都市計画関連規定、建築士法、その他関係法令まで、全範囲に及ぶとともに、そのポイントと詳細については、分かりにくいところや間違いやすいところについて、具体的に詳しく説明されており、まさに【これだけでわかる建築基準法】といった充実の内容であった。従前の対面式の講習でこれだけのボリュームの講習を一度に受けることは、受講者側にとってもかなりの負担が伴うものであるが、今回はWEB講習で、自分の都合の良い時間に分割して受講することができたり、特に重点的に聞きたい箇所だけを効率的

に受講したりすることが可能であった。また、わかりにくい箇所も何度も聞き直すことができた。今回コロナ禍のやむを得ない対応で行われたWEB講習という形式が、受講者に都合の良い受講の仕方を選択できる可能性を提供できた意義は大きい。この講習、今後もWEBの方が良いのでは？



使用したテキスト
「図説 建築法規」
著者 小嶋和乎
出版社 学芸出版社

「建築物の環境配慮制度と最新省エネ・環境技術」

日程：令和3年10月25日(月)～31日(日) WEB講習会にて実施



山添光訓(専務理事)

政府において2050年の温暖化ガス排出量実質ゼロに向けた方針が打ち出され、住宅や建築物は新築平均で30年度までに排出量ゼロを目指すこととされています。

2019年に建築物省エネ法も改正される中、先進的に取り組んできた大阪府や大阪市の建築物の環境配慮制度や最新省エネ・環境技術についてのWEB講習会を実施しました。

まず、大阪府からは住宅まちづくり部建築指導室審査指導課の橋本様から大阪府温暖化防止条例に基づく環境配慮制度の内容、建築物省エネ法の改正及び、それを踏まえ本年6月に大阪府環境審議会における「建築物の環境配慮のあり方」の答申内容と大阪府の対応方針について解説がありました。これまで、非住宅を中心に環境配慮の取組がなされてきましたが、今後は戸建住宅を含める住宅における省エネ、環境対策や再生可能エネルギーの導入は待ったなしの時代に入った

との印象を強くしました。

大阪市からは都市計画局建築指導部建築確認課の原様より大阪市の環境配慮制度(CASBEE大阪みらいなど)の解説がありました。大阪市独自の評価制度について詳しい説明があり、評価ソフト内で環境表示ラベルが作成できる市独自のソフトをダウンロードして使用するなど留意事項の説明がありました。

また、大阪府・大阪府で主催の令和2年度「おおさか環境にやさしい建築賞」の表彰作品の東大阪市文化創造館(大阪府知事賞：(株)佐藤総合設計関西オフィス/(株)大林組大阪本店一級建築士事務所)、(株)ヒラカワ本社(大阪市長賞：関西ビジネスインフォメーション(株)KBI計画・設計事務所)、東大阪市営上小阪東住宅(住宅部門賞：(株)市浦ハウジング&プランニング)、SINKO AIR DESIGN STUDIO(事務所部門賞：(株)竹中工務店大

阪一級建築士事務所)、ホテルロイヤルクラシック大阪(商業施設その他部門賞：(株)隈研吾建築都市設計事務所/鹿島建設(株)関西支店一級建築士事務所)について自然エネルギーの活用等、クラウド型簡易BEMSの等最新の省エネ・環境技術やBCPを高めた施設計画の具体的な説明があり、実務にも活かせる有意義な講習会となりました。



東大阪市文化創造館(大阪府知事賞)

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離間距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

本年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

大阪府知事指定講習 2021年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》 12/8・2/17 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①12月8日(水)
②令和4年2月17日(木)

時間 10:00～15:50

会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車
定員 各40名(定員になり次第締切)

受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,300円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込み願います。その際振込手数料もご負担願います。

令和3年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 11/10、1/27、2/18、3/9 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日程 11/10(水)
1/27(木)、2/18(金)、3/9(水)

時間 8:55～17:00

会場 本会会議室

定員 各回20名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和3年度建築士定期講習 3/7、3/24 CPD各6単位 11/19、12/16 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員
3/7(月) 大阪国際会議場10階 200名
※3/24(木) 大阪国際会議場10階 200名
時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法
申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

<https://jaeicktosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

▼「WEB動画配信」による講習会
各自都合のよい時間にWEB動画により受講いただき、修了考査のみ会場に来ていただく形式となります。

修了考査日程・会場・定員
11/19(金)大阪府建築士会 1日3回20名ずつ
12/16(木)大阪府建築士事務所協会 1日3回16名ずつ

受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法
建築技術教育普及センターHPからWEB申込
<https://jaeicktosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

既存住宅状況調査技術者講習 新規講習11/25 CPD5単位 更新講習12/22、2/15 CPD各2単位 オンライン更新講習 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士だけに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2018年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。オンライン講習も開催します。

▼新規講習(DVD講習)

日時 11/25(木) 9:30～17:00

会場 本会会議室

定員 20名(定員に達し次第締切)

受講料 郵送申込22,000円
WEB申込21,450円

▼更新講習(DVD講習)

日時 12/22(水)、2/15(火)
13:30～16:50

会場 本会会議室

定員 各20名(定員に達し次第締切)

受講料 郵送申込17,600円
WEB申込17,000円

▼オンライン更新講習

日程 12月前期:12/1(水)～12/15(水)
申込締切11/17(水)
1月後期:1/16(日)～1/31(月)
申込締切1/2(日)
2月前期:2/1(火)～2/15(火)
申込締切1/18(火)
2月後期:2/16(水)～2/28(月)
申込締切2/2(水)

定員 各200名

受講料 WEB申込みのみ17,000円
※受講に必要なパソコンの動作環境の詳細は、日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

▼申込
日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

初心者向けWEB会議基礎の基礎 ～ZOOM、Microsoft Teamsの使い方～ 11/8 CPD2単位(予定)

新型コロナウイルス感染症の影響により、直接の対面での商談や打ち合わせが難しくなりました。その一方、コロナ禍で活用されるようになったWEB会議システムでは、PCやスマートフォンを使用して、遠方の方、世界中の人たちと手軽にコミュニケーションを行うことが可能となりました。また、建築士法等の改正により、建築設計委託契約における重要事項説明がIT化可能となり、今後は建築確認申請なども電子化される方向です。

今回は、全国大会広島大会のオンライン配信を目前に控え、ノートPCやタブレット、スマートフォンを会場にお持ちいただき、ZOOMやTeamsの設定や操作について学びたいと思います。(Wi-Fi接続が基本になりますので、Wi-Fi接続が可能なPCをお持ちください)

日時 11月8日(月) 18:00～19:30

会場 本会東会議室

参加費 会員1,000円 会員外2,000円

定員 25名(内、機器使用可能10名)

講師 石貫 方子(パナソニック株式会社)

建築士の会いずみ野 泉南ロングパーク見学会 11/11 CPD2単位(予定)

国土交通省都市局公園緑地・景観課が推進する「Park-PFI」制度を活用し整備された泉南ロングパークについて、本施設のみならず大阪城公園や花博記念公園などに同様の施設を展開する大和リース株式会社の担当者を招いて、実現に至った経緯やノウハウ、建設後の運営などについて講演、解説をしていただきます。

日時 11月11日(木)
15:15～ 受付
15:30～16:30 講演・説明
16:30～17:15 外部施設見学

会場 泉南ロングパーク SORA RINKU
ミーティングルーム2

定員 25名(定員に達し次第締切)

参加費 会員・一般500円
学生無料(学生証提示による)

「ヨドコウ迎賓館(重要文化財)保存修理工事の足跡とライト建築をしのぶ」 11/19 CPD3単位

ヨドコウ迎賓館館長、藤木工務店の御厚意によりフランク・ロイド・ライトの建築であるヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)の見学と保存修理工事のお話です。

2019年2月から一般公開されていますが、4年前から工事に携わった藤木工務店の現場所長にお越しいただき、当時の関係者でないといわからないお話を聞き、ライト建築を堪能していただけます。

日時 11月19日(金) 14:00～16:30

場所 ヨドコウ迎賓館
※集合:ヨドコウ迎賓館玄関前『阪急芦屋川駅』徒歩10分

定員 30名(定員に達し次第締切)

参加費 会員2,000円 会員外3,000円

全国大会広島大会東京開催オンラインLIVE配信 11/19、11/20

第63回建築士会全国大会広島大会は、新型コロナウイルス感染拡大により、広島での現地開催から東京での開催へと変更になり

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

ました。それに伴い、本大会は、オンライン配信主体での開催となります。
現地参加は、関係者（主催者・来賓・表彰者等）のみとし、入場を制限する一方で、大会式典・記念対談・交流セッションをオンラインにより配信します。大会の各プログラムはLIVE配信により当日無料でご視聴いただけます。
期間 11月19日（金）～20日（土）
形態 WEB/LIVE配信
参加費 無料
詳しくは、日本建築士会連合会HPをご覧ください。

宇宙建築～宇宙開発における建築の可能性～

11/20 CPD3単位（予定）

国の威信をかけて取り組んでいた宇宙開発は今やビジネスとして多くの民間企業が参画する場と変遷し、急速な成長を続けています。建築業界にもその波は押し寄せ、様々な建設企業や建築家が宇宙における建築の可能性に思いを馳せ、その実現に向けてチャレンジを続けています。
本講習会では建築業界のそれぞれの分野で宇宙開発の活動をおこなっている3人の講師をお招きし、ご自身の宇宙開発を中心とした基調講演とこれからの宇宙建築の可能性を探るパネルディスカッションを開催します。
日時 11月20日（土） 10:00～13:00
会場 大阪府建築健保会館 6階
定員 70名（定員に達し次第締切）
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

「Home IoT技術の現在」

11/24 CPD2単位（予定）

IoTとは、インターネット通信によりスマホやPCなどの機器からモノ（Things）を制御する技術のことです。家電や住宅設備などにIoT技術やAI（人工知能）が取り込まれることで新しい住宅やサービスが生まれつつあります。
今回は住宅用のIoT技術の現状やどのようなことが可能なかをご紹介しますと思います。
日時 11月24日（水） 18:00～19:30
会場 本会東会議室
定員 25名
参加費 会員1,000円 会員外2,000円
講師 石貫方子（パナソニック株式会社）
※後日、セミナー内容を有料配信予定！
準備が整い次第、改めてご案内します！

デザイナーと建築技術者のための鉄とステンレス 新素材の活用講座

11/25 CPD4単位（予定）

鋼材の表面処理技術が向上し、錆びにくい種類が多様化しています。また、ステンレスもさまざまな新素材が活用され始めています。

それぞれの活用方法について正しく理解することは、イニシャルコスト及びランニングコストを考える上でも重要なことです。今回はレアメタルの世界的背景と共に、鉄とステンレスのプロが内装・外装・下地材に対し、新素材の使い方のノウハウをお伝えします。
日時 11月25日（木） 13:00～17:30
会場 TOTOテクニカルセンター大阪
定員 30名（定員に達し次第締切）
受講料 建築士会会員4,000円
後援団体会員5,000円
一般6,000円

三栄建設 鉄構事業本部新事務所見学会

11/26 CPD3単位予定

三栄建設鉄構事業本部の新事務所は世界初の立体ボロノイ構造を採用したデザインで、BIMシステムと鉄構の最高技術を結集した建築物です。今回は現地見学会とあわせて、設計・施工プロセスについて意匠設計者、構造設計者、施工者に解説していただきます。
日時 11月26日（金） 13:15～16:30
会場 三栄建設鉄構事業本部新事務所
定員 40名（定員に達し次第締切）
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

はじめよう、文化財の活用

11/28、12/4、1/22、2/19

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、建物見学やワークショップ、周辺のまち歩きを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通じて文化財を保存する力、いわゆる「文活BUN・KATSU」を学ぶ講座です。
第2回「定員に達しました」
「銭湯×JAZZ」
かつてダンスホールとしても親しまれてきた源ヶ橋温泉。JAZZの名曲やリクエスト曲の生演奏で歴史を辿りながらオシャレな時間を過ごしてみませんか。
日時 11月28日（日） 13:30～16:30
会場 源ヶ橋温泉（国登録有形文化財）
大阪府生野区林寺1丁目5-33
講師 茶之木一世
（ピアニスト、作曲家、編曲家）
第3回
「森のねんどのまちづくり」
古民家で大人も子供も楽しめる吉野杉の木屑を使った「森のねんど」で自分だけの小さな世界をつくってみませんか。
日時 12月4日（土） 13:30～16:30
会場 吉村家住宅（国登録有形文化財）
貝塚市西町12-7
講師 岡本通泰（人形作家）

定員 各回24名程度（定員に達し次第締切）
受講料 各回1,500円
申込方法
必要事項（名前、住所、メールアドレス、携帯番号、同伴者の名前）を heritage@aba-

osakafu.or.jpへメール又は06-6943-7103へFAX。
後日、参加証のメール等予定。（集会場所など記載）
第4回目以降は「大阪文化財ナビ」をご覧ください。

高層純木造耐火建築「OYプロジェクト」説明会

12/3 CPD2単位（予定）

OYプロジェクトは、神奈川県横浜市に建設中の大林組の次世代型研修施設です。この建物は、地上の主要構造部をすべて木材とした地上11階建ての日本初の高層純木造耐火建築物で、柱・梁には世界初の3時間耐火を取得した「オメガウッド（耐火）」を用いています。木を活かし自然を取り込むデザインとしており、コミュニケーションを誘発し、イノベーションの促進や企業文化の醸成を図り、これからの知を育む大林組の新たな拠点となります。
説明会では、高層純木造耐火建築物を実現するための意匠及び構造計画と木造部材ならではの施工計画についてご説明します。
日時 12月3日（金） 14:00～16:00
会場 大阪建築健保会館 6階ホール
定員 70名（定員に達し次第締切）
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

ちょっと知りたい建築セミナー

造園家 荒木芳邦 生誕100年展記念セミナー

12/5 CPD1単位（予定）

大阪府池田市出身の造園家で、懶荒木造園設計（賛助会員）創業者荒木芳邦氏の生誕100年を記念して、展覧会が行われます。展覧会とともに、建築士会会員向けの荒木芳邦氏の作品を振り返るセミナーを開催します。

▼荒木芳邦氏の主な作品

- ・リーガロイヤルホテル大阪
東館湾の庭園（大阪、1965）
- ・日本万国博覧会松下館庭園（1970）
- ・東池袋中央公園（東京、1979）
- ・ポートアイランド南公園（1980） 等

日時 12月5日（日） 13:30～14:30
会場 株式会社 荒木造園設計本社
池田市鉢塚2-10-11
（阪急石橋駅下車徒歩10分）
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 15名
講師 坂本吉隆（（株）荒木造園設計 課長）

聖徳太子千四百年御聖忌に寄せて『聖徳太子と四天王寺』講演会

12/16

本会では、聖徳太子と四天王寺をテーマに全3回シリーズで講演会を企画いたします。

た。四天王寺は推古天皇元年に聖徳太子が建立した日本最古の官寺です。戦火や自然災害で何度も伽藍を失いながらも、聖徳太子信仰の殿堂として現在に至っています。第一回目は四天王寺の歴史と信仰についてお話頂きます。
日時 12月16日（木） 14:30～16:30
会場 本会東会議室
定員 20名
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
講師 一本崇之
四天王寺勤学部文化財係
主任学芸員

大阪地域貢献活動センター 2022年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。
募集締切 1月31日（月）
対象とする活動

原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としない活動。

助成額 1件の助成額は30万円を限度

※募集案内を今月号に同封しています。

その他のお知らせ

被災建築物の応急危険度判定（養成）講習会

12/16、2/15 CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。判定士の資格をお持ちでない方はぜひ本講習会を修了され、判定士へのご登録をお願いいたします。
日程 12/16（木）、2/15（火）
時間 受付12:30～ 講習13:15～17:00
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
定員 各40～80名（新型コロナウイルス感染防止対策のため調整します）
受講資格 大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
※本講習会は応急危険度判定士に登録される方を対象としています。

受講料 無料
テキスト代 税込み1,600円（特別価格）
申込・問合 一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部
Tel.06-6942-0190

**応急危険度判定士登録の継続確認と連絡方法の変更
および広域災害調査技術者の登録募集に関するお知らせ**

～ 応急危険度判定士にご登録の皆様には、直接メール等で詳細をご連絡いたします ～

● 応急危険度判定士登録の継続確認

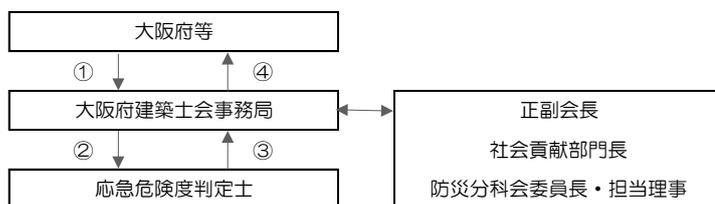
今後のご登録継続の可否や連絡先の変更などにつきまして、近日中にご登録の皆様に向けてメール等によるアンケートを実施いたしますので、ご回答をお願い申し上げます。【回答締切 11月30日（火）】

※応急危険度判定士への新規登録をご希望の方は、本誌 P11 に掲載の「被災建築物の応急危険度判定（養成）講習会」をぜひご受講ください。

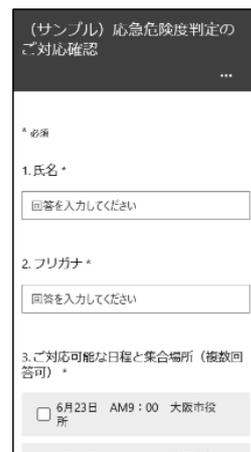
● 応急危険度判定の連絡方法の変更

本会の応急危険度判定士の参集確認は、これまで電話による連絡網を構築しておりましたが、より合理的で迅速な情報収集のため Microsoft Forms を活用したメールによる連絡方法に変更いたします。発災後は本会事務局より判定士の皆様へ、参集確認のアンケートの URL を一斉配信いたしますので、PC やスマートフォン等にてご回答をお願いいたします。

応急危険度判定連絡フロー



- ① 大阪府等より本会へ参集可能な判定士の確認依頼
- ② 本会より判定士の皆様へ参集アンケートのURLをメールで一斉配信
- ③ 判定士の皆様による参集アンケートの回答
- ④ 本会より大阪府等へ判定士名簿を提出



● 新設 広域災害調査技術者の登録募集

本年 7 月に(株)内山鑑定事務所と締結した「大規模災害時における基本協定」に基づき、下記の要件をすべて満たす応急危険度判定士の皆様を対象として、災害時の建物被害の損害鑑定業務に携わる広域災害調査技術者の募集を開始いたします。【応募締切 11月30日（火）】
調査費は 32,000 円／日（宿泊・交通費別）を予定しております。

| | |
|------------------------------|------------------------------|
| ① 大阪府建築士会の正会員 | 建築士の資格を有する方です |
| ② 広域災害調査技術者講習の修了 | 本年度内に講習を開催します |
| ③ 被災建築物応急危険度判定士の登録 | 未更新の場合は更新が条件です |
| ④ 既存木造住宅の耐震診断・改修講習「一般診断法」の修了 | 未受講の方は、登録後 2 年以内に受講することが条件です |
| ⑤ 既存住宅状況調査技術者の修了 | |

建築基準法 及び 同大阪府条例

質疑応答集

改訂第7版



▼内容構成

第1章 総則関係／第2章 単体規定／第3章 集団規定
第4章 雑則規定／付則 シックハウス／ 天空率／
大阪府建築基準法施行条例解説／
劇場等に関する技術基準解説／
建築基準法の「その他これらに類するもの」の扱い ほか

▼体裁 A4版 207頁

▼定価(税込) 発行団体会員：4,000円

— 一般：4,500円

9年ぶりの改訂

大阪府内建築行政連絡協議会監修
法令の各条項についてQ&A形式で
解説した建築申請の実務書です。

発行／(公社)大阪府建築士会

(一社)大阪府建築士事務所協会

震災復興遺産としての公設食堂

旧・東京市深川食堂 一九三二年

文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

一九三二年築の建物が、震災を乗り越えよくぞ今まで残っていたなあ、と思わず感嘆の声を挙げずにはいられなかった。それが、写真にあるように、二〇〇七年、偶然の縁からその保存活用の計画に少しだけ関わることになった旧・東京市深川食堂を初めて訪れた時の第一印象である。ほぼ同時代に東京と横浜に建設された同潤会アパートと通じるような清新的モダニズムの香り漂うそのたたずまいに深く魅せられた。場所は、

東京都江東区の地下鉄東西線の門前仲町駅を出て徒歩数分、永代通りと清澄通りの交差点近くの路地を入った突き当たり位置し、近くには、清澄公園や富岡八幡宮、深川不動尊など、名所旧跡も多い。現在は、一般社団法人江東区観光協会が運営する「深川東京モダン館」という名称で、区民の文化交流と町歩きの見学施設として大切に使われている。この鉄筋コンクリート造二階建て、延床面積約三七〇㎡の小さな建物は、



改修前の外観全景 二〇〇七年撮影



改修前の二階室内

元々は、一九三三年九月一日の関東大震災の復興計画に盛り込まれた東京市の市設食堂として、東京市土木局建築課の設計で、震災後八年の節目となる一九三二年九月一日に着工し、一九三三年春に竣工している。当時の公報には、「市設食堂は主として少額所得者の経済生活の緩和を図るを直接の目的とし簡易低廉且つ栄養に富む食事を供給せむとする事業である」(『東京市公報』昭和六年三月十七日)と記されている。関東大震災で被災して困窮し、自力では日々の食事を得ることさえ困難な夥しい数の人々が発生したに違いない。東京市は、人々の命を守るために、震災復興計画の下で十七箇所食堂の整備を図り、深川食堂は、その最後を締めくくる建物だった。それでも、経済の復興が少しずつ進んでいたのだろうか。同じ公報の続きには、次のように記されていた。

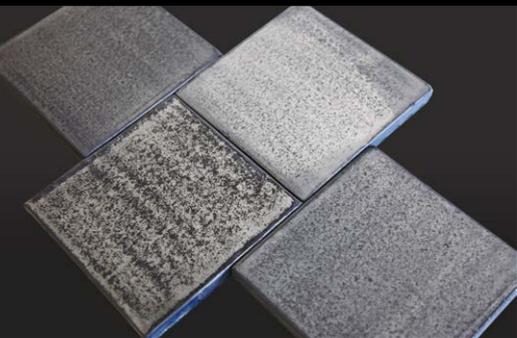
「元来市設食堂は大正七年当時の米騒動の結果必要を認め施設せられたる処のものであって、当初一般公衆の経済保護を使命として施設経営せられ、主として少額所得者の生活の便宜を図り今日に至って居るのである。而して本市は最近の経済界の趨勢に鑑み、従来の「定食」制度の外利用者の範囲を拡張し其の嗜好に応じ適當なる食事を提供する事としたのみならず、簡易なる休息所として極めて低廉に休息、喫茶もなし得る事としたのである。従って市設食堂の対象者は、主として少額所得者であるが、其の事業範囲の拡張に依り、一般市民の利用にも応える事となつたのである。」

して米価引き下げを訴えた民衆運動の米騒動をきっかけに、社会政策の必要性が認識され、一九一九年に東京市に社会局が発足する。その社会局によつて、民衆の経済保護のために、住宅にとどまらず、公設市場や公衆浴場、託児所などが整備されていく(石塚裕道・成田龍一『東京都の百年』山川出版社一九八六年)。市設食堂もそうした社会政策によつて建設されたが、次に、より広い意味の社会福祉施設に役割が拡大されていったのだろう。先の公報によれば、一九二九年度の十一カ所の市設食堂の総利用者数は、安価な「定食」が一七八万人、カレーやコロッケ、カツ丼や親子丼などの「嗜好食」が一九六万六千人に上ったという。また、利用者は、「学生、少額俸給生活者、労働者に多い」と分析された。このため、深川食堂では、嗜好食を調理室のある一階の食堂で供し、定食を供する食堂は二階に置かれた。深川食堂は、その後一時閉鎖されたが、一九三八年に、東京市栄養食配給所として活動を再開し、太平洋戦争下の一九四三年には、東京都の都民食堂となつて、戦時下の食事提供の場としての活動が続けられていく。しかし、一九四五年三月十日の米軍の焼夷弾による東京大空襲によつて、内部を焼失させてしまう。

こうして、深川食堂は、壊滅的な焦土の中で敗戦を迎え、大きく傷ついた。だが、戦後復興の中で修復工事が施され、東京都の職業幹施設の亀戸公共職業安定所・深川支部として活用されていく。一九六一年には、東京都江東区内職公共職業安定所という名称となり、二〇〇六年、第三

後に閉鎖され、竣工から七五年に及ぶ社会福祉施設としての役割を終えたのである。このような激動の歴史を耐え抜き、食堂、職業安定所、福祉作業所と役割を変えながらも、長く使われ続けてきた稀有な建物だからなのだろう。一九七九年に東京都から所管が移されて管理をしてきた江東区は、保存活用を図るべく、二〇〇六年度から耐震診断と改修計画を行い、その結果を踏まえた耐震化と改修工事が施され、二〇〇九年、深川東京モダン館が開館する。その間、二〇〇八年には、国の登録文化財に指定される。私事ながら、筆者は、二〇〇七年に、この建物の保存活用と文化財登録のために設置された検討委員会に、学識経験者の一人として加わった。しかし、結果的には、残念な事態に遭遇し、深く反省させられる苦い経験を味わう。実は、保存活用の方向性は正しかったものの、近代建築の保存修復に対する慎重な扱い方の議論は尽くされず、外壁も室内も真新しく改修され、スチール・サッシュもアルミの既製品に取り替えられて、写真のような、時を刻んだ古びた風格が跡形もなく消えてしまったのだ。

それは単なる修復方法の良し悪しにとどまる問題ではないと思う。そのような手の入れ方と建物が持つ歴史的な価値を伝える行為は表裏一体の関係にあるのではなからうか。翻つて、現在、地域の抛りどころとなる子供食堂が全国に約五千箇所あるという(湯浅誠『つながり続けること』も食堂)中央公論新社二〇二一年)。コモンの再生が切実に求められる中、震災復興遺産としての深川食堂にその手がかりがあると思えてならない。



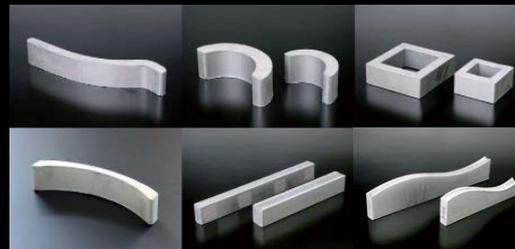
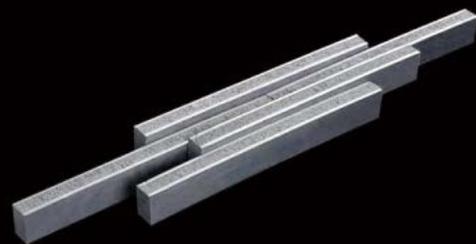
淡路瓦イズム

『景観材シリーズ ノミズ Stream』

野水瓦産業株式会社

<https://www.nomizu.co.jp/index.php>
<http://www.stream-nomizu.jp/index.html>

取材：河合哲夫／建築情報部門委員



淡路島は、イザナギとイザナミノミコトによる国生み伝説の地であるように、日本において最も古い歴史を持つ土地の一つであるようです。瓦の製造技術が400年前に伝えられて以来、淡路島は南あわじ市を中心に日本三大瓦の産地として発展し、伝統を受け継ぎながら新しい技術開発を続け、私たちの暮らしに貢献してきました。

瓦は、一年を通じて激しく変化する日本の気候に対して抵抗したり融和したりしながら、火災や台風からも私たちの暮らしを守ってくれる建築外装材として、特にその中でも過酷な環境に曝される屋根葺き材として進化を続けています。

しかし瓦は、屋根葺き材としてだけでなく、そのタフな性能と魅力のある素材感を活かして、屋根以外の内外装材や小物類などとして古くから使われ、私たちの身体と心を満足させてくれています。

今回紹介する野水瓦産業株式会社も、屋根瓦の製造を主軸として、その品質と生産性を向上させてきたと同時に、瓦の新しい可能性

の探求を続けています。

瓦を床、壁や外構の仕上げ材として使用することは、古くから行われてきましたが、野水瓦産業株式会社では、その分野において、瓦の魅力を最大限に引き出す製品を数多く輩出しています。

敷瓦シリーズ「韻」は、伝統的な敷瓦をモダンな空間で使いやすいように、豊富なサイズバリエーションが揃えられているだけでなく、「いぶし」の仕上げに加え窯変を活かした深みのある変化を楽しめる「焰／ほむら」、表面をペーパー掛けすることで経年変化の中で古びていく美しさを醸し出す「古色」、緩やかなふくらみのある表面形状の「暈／かさね」等、いずれも、瓦らしく光を鈍く反射させながらそれぞれ特徴のある魅力的な表情を見せてくれます。

壁材においても、ボーダー瓦「銀奏」は、壁面に深い陰影を生み出し、日本の美意識に根差した品格を持ちながら、印象的な強い個性を発揮する素材です。

淡路島出身の著名プロダクトデザイナーである倉本仁氏とコラボレートした『oiya』ブ

プロジェクトは野水瓦産業（株）・御原特殊瓦（株）・（株）タツミの淡路島の窯元3社がプロジェクトに参加しています。今年、東京港区西麻布にあるカリモク・コモンズ東京で8/25～9/30に『oiya』の作品発表会を行いました。著名な建築家が来場され東京のホテルや海外からも受注があり、順調なスタートになりました。

新たな挑戦を続け、それが着実な質を生み出していくのは、国生み伝説を持つ古い歴史とそこで受け継がれる気質が牽引するのではないかと感じた取材でした。

同社の景観材シリーズを集めたホームページに、ぜひ一度アクセスして下さい。

■淡路瓦のお問い合わせ先
 淡路瓦工業組合
 兵庫県南あわじ市湊134
 Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030
 info@a-kawara.jp
<http://www.a-kawara.jp/>



木造カタナリー構造による無柱のトレーニングルーム



町に馴染む愛嬌のある外観